資料3

リスク分析評価表(安全) 記入例

No (/)

部署名	対象工程(エリア)	区分	作成	認可
		定常 非常		
実施日	リスクアセスメントメンバー			
H13. . .				

No	作業名 または 設備名	詳細 区分	作業内容	危険源(ハザード) なにが(で)・どうして・どうなる	事故の型 コード記入	法規制		R = (S × 12 + (F × P) × 3) - M						対 策 完了日	完 了 確 認	備 考		
						該 当	非 該 当	対策前	S ₀	F ₀	P ₀	(SFP)	M ₀				R ₀	リスクカテゴリ
								対策後	S	F	P	(SFP)	M				R	リスクカテゴリ
	A4	上型に離型剤を塗布する	上金型が落下して手・腕を挟み骨折・切断する	4			対策前	5	5	4	120	0	120	H12.12.25		(未対策) 保護具・特別教育 フェールセーフ機器・ガード		
							対策1	5	5	4	120	36	84	H13.1.30				
							対策2	5	5	4	120	36+60	24	H13.9.17				
	A4	金型突き出しピンを操作する	突き上げシリンダに手を挟み骨折する	7			対策前	4	5	4	108	0	100	H12.12.25		(未対策) 保護具・特別教育 フェールセーフ機器・ガード		
							対策1	4	5	4	108	36	72	H13.1.30				
							対策2	4	5	4	108	36+60	12	H13.9.17				
	A4	スライドテーブルを操作する	スライドテーブルに手・腕を挟み骨折する	7			対策前	4	5	4	108	0	100	H12.12.25		(未対策) 保護具・特別教育 フェールセーフ機器・ガード		
							対策1	4	5	4	108	36	72	H13.1.30				
							対策2	4	5	4	108	36+60	12	H13.9.17				
	A4	射出シリンダを操作する	シリンダに手・腕を挟み骨折する	7			対策前	4	5	4	108	0	100	H12.12.25		(未対策) 保護具・特別教育 フェールセーフ機器・ガード		
							対策1	4	5	4	108	36	72	H13.1.30				
							対策2	4	5	4	108	36+60	12	H13.9.17				
	A4	金型からランナーを外す	金型に手、腕が触れて火傷する(140)	11			対策前	3	5	2	66	0	66	H12.12.25		(未対策) 保護具・特別教育		
							対策1	3	5	2	66	36	30	H12.12.25				
							対策2											
	A4	金型からランナーを外す	ランナーの鋭利な破断面で手を切る	8			対策前	1	5	2	42	0	42	H12.12.25		(未対策)		
							対策1											
							対策2											

詳細区分一覧

- A. 定常作業
 A1 始業点検 A2 段取り A3 チョコ解除 A4 通常作業(作業ミスも考慮すること)
 A5 清掃 A6 設備の立ち上げ・立ち下げ A7 事務作業 A8 評価試験
 A9 その他
- B. 非常定常作業
 B1 工程変更 B2 設備定期メンテ B3 異常対応(故障・修理) B4 その他

リスク査定テーブル

S:危険源	F:接近頻度	P:回避できない確率	M:防護のレベル	R:リスクカテゴリ
1 医務室	1 1回以上/年	1 殆どない20%未満	72 冗長性・自己診断	2 4点以下
2 病院治療	2 1回以上/月	2 時々起る20%以上	60 フェールセーフ機器・ガード	2 5 ~ 48点
3 通院	3 1回以上/週	3 良く起る50%以上	36 保護具・特別教育	3 49 ~ 72点
4 入院	4 1回以上/日	4 確実に起る90%以上	24 一般の検出機器	4 73 ~ 96点
5 死亡・障害	5 1回以上/h		12 教育訓練・表示警告	5 97 ~ 120点